

「あだち放課後子ども教室」は区内の小中学校内で、地域の方(スタッフ)の見守りのもと子どもたちが遊びや読書など自主的に活動する場です。



今月のテーマ

校庭で育つ子どもたち



「あだち放課後子ども教室」の活動の中でも、特に人気があるのは校庭での外遊びです。今回は、栗島小学校放課後子ども教室の校庭で遊んでいる子どもたちの様子を紹介します。

● 校庭ではたくさんの遊びをしています

広い校庭の真ん中ではサッカー、校舎の横ではドッジボールやバスケットボール、バックネットのところでは野球あそび、ジャングルジムやうんでいで遊ぶ子もいます。



バスケットボールの合間に！

スタッフの角田さんは「校庭ではいくつもの違う遊びをしているので、スタッフは全体に気を配っています。子どもたちも小さい子とぶつからないように、周りを見ながら遊んでいます」と話してくれました。



みんな仲良し♪

● 違う学年の子どもたちが遊んでいます

「ドッジボールをする子はおいで」とスタッフが呼びかけると、色々な学年の子どもたちが集まってきます。授業のドッジボールより少ない人数なので、いつもはボールを取れない子も、上級生に励まされながら頑張っています。

見守っているスタッフのみなさんは、「参加している子は段々うまくなっていきますね」と話してくれました。



上級生と一緒にドッジボール！



● 片付けもちゃんとします

ボールやバットや缶ぽっくりなどの遊び道具は、子どもたちが自分で校庭に持って行きます。もちろん、遊んだあとは自分たちで片付けます。

スタッフリーダーの藤崎さんは「片づけをするのは当たり前と言う方もいると思いますが、どの学年もできているのはすごいことだと思います。子どもたちをほめてあげたいです」と話してくれました。



スタッフさんが大好き♪



校庭で友だちと遊びながら、思い切り体を動かすことで、身体も心も成長していく子どもたち。今日も校庭から、子どもたちの元気いっぱいな声が聞こえてきます。



放課後子ども教室担当 ☎5813-3732 平日 午前9時～午後5時

スタッフを募集している
「あだち放課後子ども教室」
があります
詳しくはお問い合わせください